

北上市議会教育民生常任委員会と市内障がい者団体との意見交換会
概要報告書

1 テーマ

北上市の障がい者施策について

2 開催日時

平成 27 年 3 月 20 日(金)午後 1 時 30 分から午後 3 時

3 開催場所

北上市総合福祉センター 2 階会議室

4 次第

(1) 開 会

北上市議会教育民生常任委員会 副委員長 梅木 忍

(2) 挨拶

①北上市議会教育民生常任委員会 委員長 星 敦子

②北上市身体障害者福祉協会 会長 中舘 久二

(3) 自己紹介

(4) 意見交換会

テーマ「北上市の障がい者施策について」

(4) 閉 会

北上市議会教育民生常任委員会 委員長 星 敦子

5 概 要

【意見交換】

①受診サポート証について

自閉症や発達障害などの障害や病気があり、診察の待ち時間をうまく過ごせない人のために、北上医師会が「受診サポート証」を発行している。「北上市手をつなぐ育成会」ではその申請窓口を担っているが、現在は会長 1 人がその事務を行っており、かなり負担がかかっている。その受付事務を市が担っていたらありがたいのだが、そのようなことをお願いしてもよいのだろうか。

- 《委員》年間の申請件数や、申請から発行までどの程度の時間を要するのか教えていただきたい。
- 《団体から》28件の申請があり、そのうち27件発行した。早ければ申請から2週間程度で発行できるよう頑張っている。

②障がい者の歯科治療について

障がいの内容や程度によっては、一般的な歯科で治療することができず、虫歯の治療程度でも盛岡市の岩手医科大学附属病院まで行って治療しなければならない現状である。市内とはいわないが、せめて近隣に障がい者向けの歯科（障がい者歯科）があれば助かる。

- 《委員》一般的な歯科では障がい者の治療は難しいのか。
- 《団体から》障がいの内容や程度にもよるが、障がい者によってはずっと口を開けたり静かに治療を受けることが困難な場合は、全身麻酔を必要とする。そのようなこともあり、障がい者歯科は常時3名程度の麻酔科医が必要であるようだ。そのため、障がい者歯科は年間3億円程度の経費がかかり一般的な歯科が対応するのが難しい状況となっている。

③施設について

障がい者向けのグループホーム

市内に夜間支援員がいるところがないため重度の障がい者が入所できない。緊急の短期入所を受け入れるためにも、夜間支援員のいるグループホームが必要であると思う。

地域活動支援センター

特に、土日の余暇が課題。映画鑑賞やレクがあっても、重度の障がい者は人手が足りないために受け入れてもらえない。受け入れられないと、常に親が障がい者の世話をしなければならなくなる。

その他

- ・障がい者施設に限らず、介護施設全般にいえることであるが、介護職員の人手がいない。介護職員の処遇改善に対し、市の支援をお願いしたい。
- 《委員》市でも重要な課題と捉えており、緊急雇用対策事業などを活用して人材確保を図ってきたが、職場への定着はなかなか難しいようである。

- ・障がい者向けの施設が少ない。例えば今ある老人向けの施設の空きベッドなどでもいいので障がい者を受け入れてほしい。障がい者の高齢棟も必要と考える。

④福祉タクシー助成制度について

- ・1枚当たり300円の助成券を24枚交付し、24枚すべてを使い切った場合は次年度に12枚上乘せして交付しているが、それでも近隣他市町と比べて少ない（花巻市：500円×36枚など）。
- ・以前のように、初乗り運賃分の金額を1枚とした助成券のほうが使い勝手が良い。
- ・助成券でタクシー料金を支払うことに気が引けて、結局現金で支払いをしよう方もいるようだ。

⑤障がい者の視点から

- ・住みよさランキングは県内1位のようなのだが、北上市は障がい者にとって決して住みよいまちであるとは言い難い。北上駅から市役所までの間ですら点字ブロックが途切れており、歩きにくい。村崎野駅から岩手中部病院までの間にいたっては点字ブロックすらない。
- ・うるさいという理由で音が出る信号機を止めたところがある。その際は、視覚障がい者に対して一切連絡がなかった。
- ・車いすで歩いていると横断歩道に段差があったり勾配が急であったりなど不便をきたしている。また、動線上に電柱があったりして驚くことがある。
→ 《委員》気を付けて見ているつもりだが、私たち健常者の視点ではどうしても気づかないことが多い。たとえ小さなことでもいいので教えていただければありがたい。
- ・私たち身体障がい者はどうしても運動不足になりがちで、高血圧等の生活習慣病になりやすいと感じる。小さくてもいいので、障がい者専用の運動施設があればありがたい。
→ 《委員》既存の一般的な施設では運動することは難しいのか。
→ 《団体》一般向けの施設を使用するのはちょっと抵抗がある。のびのび

と運動するためにも県のふれあいランドのような専用の施設があればありがたい。また、サンレック北上などもそうだが、月の初めには予約でいっぱいになってしまい、なかなか予約できない面もある。

→ 《他の団体》例えば、校庭や体育館など運動できる施設があるので統合のために利用しなくなった小学校などを活用できればよいと感じている。

- ・ 公共施設などの車いす用の駐車場であるが、数年前からの「ひとにやさしい駐車場」制度によって、妊婦や高齢者など駐車場を利用する対象者が増えた。そのため混んで利用できなくなってしまうこともあり、今までより使いにくくなってしまった。車いす用の駐車場をそのまま「ひとにやさしい駐車場」に移行するのではなく、既存の車いす用の駐車場の数を確保したうえで、対象区画を追加して「ひとにやさしい駐車場」へ移行してほしい。

⑥その他の意見

- ・ 冬場の除雪は大変な苦勞である。相談員として支援しているが、大雪の際には対応に限界がある。
- ・ 病気や事故で障がい者になることがわかっていても、障害者手帳が発行される前に補助装具などを購入すると補助の対象にならない。例えば、手術後に退院した際、すぐに補助装具などを利用したいのに、現在の制度では障害者手帳の発行まで待たなければならない。使い勝手がよい補助制度であればよいと思う。
- ・ 一番大変だと思うのは障がい者の親である。地域活動センターの際にも話があったが、施設で受け入れをしてくれなければどうしても親が面倒を見ていかなければならない現状であり、さらには自分が亡くなってしまった後の面倒は誰が見るのか考えるだけでも、その苦勞や心配は計り知れない。どうか、そういった面倒を見る親の大変さも認識してほしいと思う。

6 出席者

【教育民生常任委員会】

委員長	星	敦	子
副委員長	梅	木	忍
委員	小	原	敏道

委員 鈴木 健二郎
委員 高橋 初男

【議会事務局】

書記 齊藤 大

【市内障がい者団体】

北上市身体障害者福祉協会	会長	中 舘 久 二
北上市身体障害者福祉協会	理事	高 橋 尚
北上市身体障害者福祉協会	理事	高 橋 巖
北上市身体障害者福祉協会	理事	高 橋 喜 和
北上市手をつなぐ育成会	会長	菅 原 幸 二
北上市手をつなぐ育成会		榊 原 千代子
日本オストミー岩手支部		高 橋 守
身体障害者相談員（身障協理事）		高 橋 ユウ子
身体障害者相談員（身障協理事）		平 田 桂 子
身体障害者相談員（身障協理事）		屋 敷 明 美
身体障害者相談員（身障協理事）		細 川 松 子
身体障害者相談員（身障協理事）		高 橋 嘉 蔵
身体障害者相談員（身障協理事）		齊 藤 和 子